

平成19年度第1回千葉市図書館協議会議事録

- 1 日 時：平成19年7月27日（金） 午後2時30分～午後3時45分
- 2 場 所：千葉市白井公民館 講習室
- 3 出席者
 - (1) 委員
齊藤誠一委員長、三宅壽美子委員副委員長、宮脇延江委員、秋元寛委員、
藤本純男委員、和田麻理委員、中山幸子委員、鷲山和子委員、安岡貴美代委員、
(欠席1名)
 - (2) 事務局
田口中央図書館長、土橋中央図書館管理課長、植草中央図書館情報資料課長、
鶴岡みやこ図書館長、岩井花見川図書館長、中西稲毛図書館長、秋谷若葉図書館長、
小川緑図書館長、芝崎美浜図書館長、石井中央図書館管理課主幹、
白壁中央図書館情報資料課主幹、鈴木若葉図書館泉分館担当主査、
浜田中央図書館管理課企画運営係長、鈴木中央図書館管理課主査補
- 4 傍聴人 6名
- 5 議 題
 - (1) 平成18年度事業報告について
 - (2) 平成19年度事業計画について
 - (3) 図書館システム更新に伴う新サービスについて
 - (4) その他
- 6 議事の概要
 - (1) 平成18年度事業報告について
図書館運営状況と事業活動について事務局から報告
 - (2) 平成19年度事業計画について
次の～について事務局から報告
平成19年度予算額について
中央図書館事業計画について
地区図書館事業計画について
 - (3) 図書館システム更新に伴う新サービスについて
次の、について事務局から報告
図書館システム更新の前と後のサービス比較表
図書資料の予約件数
- 【質疑応答】(1)、(2)、(3)について
- 【協議】
- (4) その他
- 7 会議経過
 - 開 会
定足数の確認（協議会委員9名の出席をもって成立）
 - 議 事
 - 議 長
平成18年度事業報告、平成19年度事業計画、図書館システム更新に伴う
新サービスについて事務局より一括報告の後、協議及び質疑応答を行う。
 - 事務局
以下事務局からの報告
 - (1) 平成18年度事業報告について

『千葉市の図書館 2007』に基づいて、図書館の組織・職員数、図書資料数の推移、利用者登録数、図書貸出冊数、予約件数、レファレンス件数、千葉市図書館ホームページアクセス件数、来館者数、事業活動（企画展示、おはなし会、主催行事、学校等関連施設との連携活動、図書館だよりの刊行）図書館サービス状況について説明。

(2) 平成19年度事業計画について

平成19年度予算額について

中央図書館管理運営と地区図書館管理運営の予算額、図書館システムの運営の予算額について説明。

中央図書館事業計画について

主な計画としては、「子ども読書まつり」を多数の市民が参加できるように中央図書館及び地区図書館で開催する。地域おはなしボランティア養成講座を実施して、ボランティア25人を養成する。千葉市出前講座「図書館を上手に使いこなそう」を、各地区図書館でも実施していく。図書館職員と音訳協力者を対象とした音訳研修会を実施する。図書館職員の資質向上を図るための図書館職員全体研修会を2回実施する。企画展示については、環境調整課との連携による「地球温暖化を考えよう」を実施した。現在は、「球児たちの熱い夏」副題は「戦火を乗り越えて」を実施している旨を説明。

地区図書館事業計画について

子ども読書活動推進計画に基づく児童向けサービスの充実と、地域に密着した企画展示・歴史講座の実施を目指している。

みやこ図書館では、新規に2才児を対象とした「わらべうたと絵本講座」、小学校7校での訪問おはなし会、学校図書館関係者との交流会、郷土博物館との連携で歴史講座を実施する。

花見川図書館では、子ども読書の日記念事業として新規に「親子おはなし会」、好評の夏休みのイベント「科学あそびの部屋」、郷土歴史講座を埋蔵文化財調査センターとタイアップして実施する。

稲毛図書館では、子ども読書の日記念事業として新規に「親子おはなし会」、郷土文学講座「山本周五郎と青べか物語」を実施する。

若葉図書館では、定例おはなし会等を西都賀分館・泉分館と共に実施する。

緑図書館では、おはなし会を中心とした子ども読書まつりを実施し、展示事業の中では特に「本が泣いています」で市民の財産としての本の大切さを訴えていく。

美浜図書館では、打瀬分館の貸出し冊数が本館を上回ることから、市民の利用に対応できるよう展示を中心に事業の拡充を図る。本館では、昨年からはじめた2才児の親子を対象とした読み聞かせ会に妊婦さんの参加を呼びかけたいと考えていることを説明。

(3) 図書館システム更新に伴う新サービスについて

図書館システム更新の前と後のサービス比較表

図書館システム更新に伴い、インターネットによる図書資料の予約、予約状況の確認、現在の貸出し図書資料の確認、貸出し期間延長が出来るようになり、携帯電話からも同様のサービスが受けられるようになった。更に、予約した図書資料の貸出し準備完了通知が電子メールでも可能となり、レファレンスもインターネットによる電子メールで出来るようになったことを説明。

図書資料の予約件数

4月から6月までの図書資料の予約件数を前年度と比較すると、約50%増加しており、新サービスの提供により図書館の利便性が向上していることを説明。

【質疑応答】・【協議】

- 議 長 事務局から報告のあった件についての質問や協議することがありましたら発言願います。
- 委 員 千葉市図書館ホームページのお知らせ欄に、「児童書の寄贈を随時お受けしています。」と掲載されている。この児童書はどのような本を指すのか、どのような意図なのか、どのように活用するのか説明して欲しい。
- 事務局 家庭にある本（絵本も含む）を寄付してもらい、選書して開架用、団体貸出し用として利用する。
- 委 員 児童書について、開架と閉架に分けて置く基準を示して欲しい。
- 事務局 児童書は、副本が何冊もあり開架と閉架の両方に配架している。また、基本図書は貸出しにより開架にないときは、閉架から開架へ移動している。
- 委 員 公民館図書室は所管が異なっているのはわかっているが、地区図書館・中央図書館と比較して、所蔵している図書の冊数が少なく図書も古い。子どもが身近な図書館として利用するのに調べ学習の資料も少ない。このことについて、何とか改善できないか。
- 事務局 公民館図書室の開館日数は、図書館の分館のときは週3日間の午後だけの開館で、その後公民館の管轄になり、週7日間で9時45分から17時に開館日数が拡大した。図書館分館として、職員の配置、管理について現在と同様の運営は難しいと考える。公民館図書室の選書に関しては、図書館職員が補助をしている。また、高額な図書の購入についても図書館が相談に乗るようにしている。
- 委 員 子ども読書まつりの雑誌リサイクルについて聞きたい。
- 事務局 雑誌リサイクルは、図書館にある雑誌をリサイクルしたものです。
- 委 員 図書館でのリサイクルの啓蒙は考えているか。千葉市のごみ減量化について子どもの時期に知識を吸収し、子ども自身が考えることが大事。子から親へとリサイクルについての知識や理解が進んでゆくと思う。図書館で行政と密着した形で理解促進を図る工夫をして欲しい。
- 事務局 環境問題について環境調整課と連携して講座を実施した。図書館では環境分野についての取り組みを行っている。今後リサイクル等についても、環境局の関係部署と相談して、場を設定するように検討してゆきたい。
- 委 員 中央図書館の地球温暖化の展示は良かった。中央図書館の展示を地区図書館に巡回できるのか。リサイクルについての展示も出来ると良い。
- 事務局 地区図書館からの相談があれば検討したい。
- 委 員 子ども向けの講座は多いが、大人・高齢者向けの講座が少ないように思う。
- 事務局 今年、地区図書館で歴史講座を実施している。子どもだけでなく、全ての年齢層に合わせた講座を実施したい。国の方針で「子どもの読書活動の推進に関する法律」や「文字・活字文化振興法」などで子どもの読書に眼目がおかれている傾向があり、高齢者向けのサービスは、これから研究してゆく必要があると考えている。
- 委 員 千葉市の市民1人当たりの貸出し冊数は、全国レベルで見るとどうか。
- 事務局 本市の市民1人当たりの貸出し冊数は5.3冊で、千葉県の平均は、5.52冊となっている。市民1人当たりの蔵書数でみると本市2.6冊で千葉県の平均は2.7冊。市民1人当たりの資料購入費は本市216円で千葉県の平均は220円。人口規模の大きい船橋市、松戸市と比較すると本市の方が高い数値となっており、また政令指定都市の中でも本市は比較的に高い状況にある。
- 委 員 本市の市民1人当たりの貸出冊数は、全国平均値5冊とほぼ同じである。
- 委 員 平成19年度の図書資料費はいくらか。
- 事務局 全体で1億7,640万円です。

- 委員 ファミリーブックタイムの事例集は既に発行しているので、新しい取組みがあった方がよいと思う。
- 事務局 学校用の団体貸出しについて、図書の借受と返却が近くの地区図書館で出来るようにしてもらえないか。またインターネットで団体貸出しの予約が出来ないか。
- 委員 ファミリーブックタイムの事例集については、新入学1年生と4ヶ月児健診時に配布して本年度で2年目なので、効果を調査してから考えたい。団体貸出しの物流は、文庫のみ月1回職員が地区図書館に配達している。ブックメールカーに団体用を加えることが出来ないか検討中だが、輸送量が多くなり現行の軽トラックでは限界があり、また経費の面で負担が増える。何とか使いやすくなるように努力していきたい。
- 事務局 学校には図書館指導員が配置されているが、中学校では週1回と少ないので、図書館職員が学校に出張して読書相談をしてもらえないか。また、千葉市科学館が10月20日に開館するので、それとタイアップした科学図書のお祭りのような企画はないか。
- 議長 読書相談については、学校からの要望があれば期待にそいたい。千葉市科学館について、施設の内容を調べてから検討していきたい。
- 議長 いろいろな課題が出たと思う。課題を整理して委員の皆様の後日お示ししたいと考えます。
- その他特になければ、これで協議を終わりにします。

閉 会